

令和6年度 学校だより5月号から

「できるのは最高のムーキー・ベッツになることだ」

早いもので今年度もすでに1か月がたちます。4月下旬は雨の日が多かったですが、その分草木は充分に水を浴びて、美しい緑色が映えます。気候的にも落ち着いていく春の日差しの中、子どもたちは新しい学年・学級で生き生きと学習を始めることができました。

校庭では50m走の計測をする子どもたちの姿が見られました。新体力テストが5月に行われますが、50m走に限っては各学年で実施するので、各学年が日程を決めて計測していきます。

また、理科の学習で「春さがし」をしている子どもたちもよく見かけます。学校ではこの風景が「また春がめぐってきたな」と感じる小さな風物詩です。

先日、メジャーリーグ ロサンゼルス・ドジャース大谷翔平選手の活躍を伝えるニュースの中で、ドジャースのチームメイトムーキー・ベッツ選手のコメントに目が留まりました。記者からの「大谷にインスパイアされないことは難しいか」という問いに対して「そんなに難しくない。彼のやることのうち90%は私にはできない。私はムーキーでなければならないし、できるのは最高のムーキー・ベッツになることだ。(体格を大谷選手と同じくらいにするために)身長を6インチ、体重を50ポンド増やすことはできないから、そういうものだ。」と答えていました。

ご存じのように、WBC決勝でアメリカ代表と戦う前、大谷選手は「憧れるのをやめましょう」と話しました。その話の中で憧れの対象としてこのムーキー・ベッツ選手の名前を挙げたほどの超一流選手です。お互いに認め合う間柄としてのコメントではありますが、同時に「最高のムーキー・ベッツになる」ところからぶれない気持ちは、私たち大人にも、子どもたちにも、大事なことを教えてくれている、と感じました。

子どもたち一人一人が「最高の自分になる」というところに戻ってくれば、自分を好きになる第一歩になると思います。同様に子どもたちを見守る大人たちが「最高のあなたでいてくれることが最高の誇り」というところに戻ってくれば、その子のために何をすればよいか、どんなアドバイスをすればよいかも明確になる気がしました。「あの子があんなにできるのだからあなたも」という言葉は、ムーキー・ベッツ選手に「大谷翔平みたいにプレーすればいいのに」とアドバイスしているようなものではないでしょうか。

校長 堀口 直明

下校方法について

荏子田小学校では、学級をAチームBチームに分けて、給食当番と掃除当番を順番に担当しています。そのため、下校時刻が2段階で設定されています。それぞれの当番の人数は少なくなりますが、良い面がたくさんあります。たとえば掃除の時間では、人数が半分になることで、全員で掃除をしていたときよりも自分の役割が明確になるため、集中して掃除をするようになりました。けがやトラブルも以前より大きく減りました。また、下校時は、人数が減ってさみしい面もありますが、交通安全の面も含めてトラブルは減っています。教職員が定期的に通学路を見守りながら、ABチーム別の下校を今後も継続してまいります。

1年生も学校生活に慣れてきました

入学してから3週間の間に、小学校生活のきまりや約束事など新しいことをたくさん覚えてきました。初めは戸惑うことも多かった1年生。6年生に朝の支度を手伝ってもらったり、掃除の仕方や給食の牛乳パックの開き方などを教えてもらったりしたおかげで、給食の用意や後片付けも、掃除もスムーズに進めることができています。校庭や学校の探検では、タブレットを使って写真を撮ることに挑戦しました。中休みには赤白帽子をかぶって元気に外遊びに行ったり、図書室や教室で友達と楽しく過ごしたりしています。保育園や幼稚園で、集団での活動になれ、できることもたくさんあることが良く分かります。これからも、ますます成長していく1年生が楽しみです。

1年生仲間入りの会

4/17(水)に「1年生仲間入りの会」が行われました。昨年度の計画委員会が中心となり、進行役やゲームの企画をしました。

2年生から6年生に「一緒に遊ぼう券」や「お掃除券」などのプレゼントをもらい、1年生からは「はい、ポーズ！」でお気に入りのポーズをお返ししました。「荏子田小へ行こうよ」のゲームでは、お題の文字の人数で集まるのですが、上級生が進んで下級生に声をかけ、どんどんグループが完成していました。曇り空でスタートした集会でしたが、ゲームが盛り上がり、子どもたちの表情も明るくなるにつれて、晴れ間が広がっていきました。

1年生を迎える会ではありますが、2年生から6年生も一つ学年があがり、進級した実感を得る機会にもなっています。今年度、荏子田小学校は40周年を迎えます。各委員会が40周年を盛り上げる取り組みを考えています。5, 6年生を中心にして、377名みんなで40周年をお祝いしていきたいと思います。